

植物多様性センターの「外来種と絶滅危惧種」

センターでは早くもキキョウが開花しました。キキョウは東京都区部では絶滅、他地域でも絶滅危惧種です。全国でも 41 都道府県で絶滅危惧指定です。また在来のヒナギキョウも島嶼では絶滅危惧種です。一方、同じキキョウ科のキキョウソウは北米原産の外来種で、日当たりの良い乾燥した草地によく見られます。環境適応性の差もあるでしょうが、大きな違いはキキョウソウにはたくさんの閉鎖花がつくこと。自殖で種子を大量生産し自分の周囲に蒔き散らします。

同じ北米産のヒナキキョウソウもよく似ていますが苞葉の鋸歯が粗く毛も多いのがキキョウソウです。



開放花はキキョウとそっくり
右下についた閉鎖花



苞葉に包まれた閉鎖花の実
脇にある穴から種子が出ている



左は既に種子が抜け出した後
右は穴の蓋が未だ閉じている



キキョウ
早くも咲きました